

Rotary Club of AMA weekly report.



2025~2026年度
国際ロータリーテーマ

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度 RI会長 フランチェスコ・アレツツォ
第2760地区ガバナー 鈴木 康仁
会長 黒川 元則 副会長 中澤 浩一
幹事 小倉 廣三
例会日 毎週月曜 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル 17F ルビナス
【公共イメージ向上委員会】
委員長 東海 広光 副委員長 神谷 智
委員 黒野晃太郎・酒井 和雄・松原 久尚・白井 幹裕

2025年 10月 6日（晴れ） 第1週 第2522回例会

Song “君が代・我らの生業”
Guest 米山奨学生 ギミレ・アロズさん

Attendance

会員	60名	欠席	9名	出席率	79.49%
----	-----	----	----	-----	--------

President Time

黒川元則 会長



皆さん こんにちは。
10月入り、ようやく秋の深まりを日に日に感じるようになって参りました。今月も様々な行事等がありますが、ロータリーでは「米山月間」となっております。本日は神野米山記念奨学委員長にフォーラムをお願いしておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、先週もお伝えしましたが、10月20日にはピアガーデンにて夜間友愛例会を開催いたします。前回の夜間友愛例会では3名もの新入会員に繋がりました。今回も「この方こそ」と思う方をお誘い頂き、1名でも多く会員増強に結びつけていきたいと思ひます。

また、10月28日火曜日には長島カントリーにて、あまクラブ主幹の基「ポリオ根絶」を踏まえた分区ゴルフ大会が開催されます。実行委員会の皆さんが、各クラブへPRに伺い着々と準備を進めて下さっています。

分区のIMやゴルフ大会は、持ち回りで行われますが、あまクラブ主幹での次の開催は9年後になります。おそらく私を含めて、半数近くの方にとっては現役プレーヤーとしてはラストの主幹大会になるかも知れませんが、是非、ゴルフの得意な方も、そうでない方、またゴルフをやらない方も、9年後に向けてご参加頂き、大竹ガバナー補佐をクラブ一丸となって盛り上げ、あまクラブのカラーを出して参りたいと思ひます。

お願い事ばかりになってしまいましたが、これを持ちまして本日の会長あいさつとさせていただきます。

Today 10月20日（第2523回）
担当 川島謙一 親睦活動委員長
演題 秋の夜間例会

Next Week 10月27日（第2524回）
担当 山田朝子 プログラム委員長
演題 ポリオ例会

Secretary Report（幹事報告）

小倉廣三 幹事

- ロータリーレートが10月1日より1ドル149円（9月147円）に変更となりました。
- 次週10月13日(月)はスポーツの日による休会となります。次回例会は10月20日(月)夜間例会となり、開催時間は18時から20時。会場は名古屋ピアガーデン MIRAI TOWER ビュー栄店となりますの

で、お間違えのないよう、よろしくお願い申し上げます。

3. 令和7年9月30日をもちまして、旧事務局が閉鎖となりました。今後は、栄のマイ、ビジネスサービス、様が新しい事務局となります。連絡先や住所につきましては、本日配布のWeeklyに記載しておりますので、どうぞご確認ください。



米山奨学生 ギミレ・アロズさんに奨学金贈呈

ニ コ ボ ッ ク ス

ご投函有り難うございます

黒川元則 会長

本日、神野米山記念奨学委員長、アロズさんよろしくお願い申し上げます。

中澤浩一 副会長

今日は、中秋の名月です。十五夜のお月様拝めると良いですね。

小倉廣三 幹事

今日の卓話はクラブフォーラムです。神野米山記念奨学委員長、ギミレ・アロズさんよろしくお願いいたします。

高山敏 君

ニコボックス委員会のみなさんお疲れ様です。

水谷安紀 君

事務所移転に尽力された皆様お疲れさまでした。

大西晃弘 君

後藤年度理事会打ち上げ旅行にご参加の皆様、本当にありがとうございました。おかげ様で今年最高体重です。

臼井幹裕 君

無事に上高地から奥穂高岳に登り、涸沢カールの紅葉を見てきました。

伊藤英毅 君

昨日、奈良に行っていました。長谷寺の観音様にもお参り出来ました。合掌。

水野真 君

第46回中部パレエフェスティバル盛大に開催、世界水準に達していました。

黒野晃太郎 君

大西さん、お世話になりました。楽しかったです。

北野庸夫 君

コーラス部、頑張ってますよ！分区に向けて、若い人達、一緒に練習しましょう！

神野恭寿 君

後藤年度理事会打ち上げご参加の皆様、お疲れさまでした。1年間ありがとうございました。

加藤春視 君

後藤年度打ち上げ旅行で熱い沖縄に行ってきました。記憶に残る楽しい旅行が出来ました。ありがとうございました。

田中正博 君

後藤年度の役員打ち上げ会ご参加のみなさま、お疲れさまでした。後藤/パスト会長、神野幹事、いろいろ手配ありがとうございました！

大竹敬一 君

サマージャンボが当たっていなかったもので、今日はこれで勘弁して下さい。ハロウィンジャンボに期待！

後藤裕一 君

本日のフォーラム、神野委員長、ギミレ・アロズさん、よろしくお願いします。後藤年度理事会の打ち上げ旅行に参加された皆様、お疲れさまでした。大変お世話になりました。楽しい時を過ごせました。感謝します。参加できなかった皆さん、土産で我慢してください。

板津和博 君

後藤裕一年度の打ち上げ旅行にご参加の皆様、お疲れ様でした。とても楽しいひと時をありがとうございました。皆様大変お世話になり、ありがとうございました。

山田広明 君・木内友也 君・北川裕士 君・浅野世志雄 君

横井久雄 君・服部竜也 君・神谷智 君

今日の卓話はクラブフォーラムです。神野米山記念奨学委員長、ギミレ・アロズさんよろしくお願いいたします。

合 計 63,000円

ク ラ ブ フ ォ ー ラ ム

「米山記念奨学委員会のクラブフォーラム」

米山奨学生 ギミレ・アロズさん



皆さまこんにちは。米山奨学生としてお世話になり、早くも6か月が経ちました。この間、例会などを通じて皆さまとお会いし、温かく迎えていただけたこと、心より感謝しています。今回は、私の生い立ちと日本での経験についてお話しします。

私はネパール出身のギミレ・アロズと申します。ネパールでは名字ではなく下の名前で呼ぶ文化があり、普段は「アロズ」と呼ばれています。現在 23 歳で、日本福祉大学の 3 年生です。趣味は小説を読むことで、特にネパールの文学を好みます。

私の出身地は首都カトマンズ近郊の村で、自然に囲まれた静かな環境です。ネパールはインドと中国の間にある自然豊かな国で、世界最高峰エベレストをはじめ、美しい山々が広がっています。朝、お茶を飲みながら雲海を眺める時間は、故郷での大切な日課でした。ネパールでは約 8 割がヒンドゥー教徒ですが、仏教やイスラム教なども共存し、宗教を超えて互いの祭りを祝います。10 月には最大の祭り「ダサイン」が行われ、家族や親戚が集まってにぎやかに過ごします。

2022 年、20 歳のときに来日しました。最初の 1 年間は I.C.NAGOYA 日本語学校に通っていましたが、当初は日本語がほとんど話せず、友達を作ることも難しい毎日でした。それでも努力を重ね、卒業する頃には多くの仲間と出会い、言葉の壁を越えて交流できるようになりました。その後、日本福祉大学に入学しました。大学では 15 か国以上の留学生が共に学んでおり、世界中の友人たちと交流できる素晴らしい環境です。インドネシアやミャンマーなど、さまざまな国の友人と出会い、一緒に沖縄旅行にも行きました。

現在は、より多くの方に少しでもネパールのことを知ってもらいたいと思い、日々活動しています。名古屋国際センターで通訳・翻訳のアルバイトをしながら、市内の小学校や高校でネパールの文化を紹介する授業の講師も務めており、子どもたちに海外の文化を知ってもらうことで、国際理解の一助になればと思っています。その活動が新聞に掲載されたこともありました。

米山奨学生に選ばれたのは大学 3 年生のときで、それ以前は「平和中島財団」から奨学金をいただいていたが、その後、米山奨学生として新たな学びの機会をいただきました。この 6 か月の間、皆さまと交流する中で多くのことを学び、日本の文化や人々の温かさを改めて感じることができました。皆さま、本当にありがとうございました。今後も感謝の気持ちを忘れず、学びを深めながら、恩返しができるよう努めてまいります。ご清聴、誠にありがとうございました。



続きまして、米山記念奨学事業についてご説明いたします。私が米山記念奨学委員会に出向させていただきたいと思った理由は、その目的に共感したからです。それは「日本と母国との架け橋となる人を育てる」ことです。設立当初は復興日本で平和などを築いていましたが、現

在は「日本で学ぶ留学生を支援し、相互理解を深める」という形に発展しています。

米山記念奨学事業は、日本のロータリー独自の活動であり、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。特徴的なのは「世話クラブ制度」と「カウンセラー制度」で、クラブが留学生と交流を重ね、日本文化を伝える重要な役割を担っています。事業は故・米山梅吉氏の基金によるものではなく、梅吉氏の功績を称え、その志を支えるために留学生の育成に寄与する目的で始まりました。

創設から 70 年を迎え、これまでに約 2 万 5 千人、約 130 か国の留学生が奨学金を受けています。2025 年度は 964 人で、中国出身者が約 40%を占めますが、ベトナムやネパール出身者も増加しています。選考は全国 34 地区の委員会が推薦校からの候補者をもとに面接を行い、公正に決定されます。

寄付金の状況につきまして、米山記念奨学事業はロータリアンの皆さまからの寄付によって支えられています。年間の総事業費は約 15 億円で、普通寄付金（会員一人あたり年 5,000 円）と特別寄付金（一口 10 万円以上）により成り立っています。2008 年には、ホシザキ株式会社の坂本会長が 1 億円の寄付をされています。もともと米山基金は現金のみの受け入れとしていましたが、坂本会長の「株式を寄付したい」という提案を受け、定款の変更に 5 年をかけて株式も受け入れ可能になったそうです。その配当金が現在の基金運営にも生かされています。特別寄付金は 1 円からでも可能であり、累計 10 万円で「米山功労者」として表彰され、100 万円を超えると「第 10 回米山功労者（メジャードナー）」となります。現在、全国平均の寄付額は約 15,999 円ですが、残念ながら 2760 地区はやや少なめです。

奨学生の卒業生である「学友」たちは、世界各国で学友会を結成し、日本への感謝の気持ちを行動で示しています。母国で教育活動を行ったり、日本での災害時に義援金を送ったりと、奨学金の恩を社会に還元しています。ロータリアンやガバナーとなった方も多く、日本への恩返しとして寄付や災害支援を続けています。モンゴル出身のガラさんは「米山記念奨学金のおかげでここまで来れた。やはり教育はすごく大事だ。」と仰っており、母国で学校や図書館を建設しています。

1952年、東京ロータリークラブが「アジアから優秀な学生を招いて学費を援助するとともに、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、平和日本を肌で感じてもらいたい」との思いで基金構想を発表したのが始まりでした。その理念は今も受け継がれ、「日本と母国の架け橋となる人材を育てる」事業として発展しています。

米山奨学生は皆、熱心に学び、日本語も流暢です。アロズさんのように優秀な留学生が多く在籍しています。ぜひ皆さまにも積極的に声をかけていただき、温かい交流を通して日本への理解を深めていただければ幸いです。

第4回定例理事会 議事録

日 時 令和7年10月6日 月曜日
自 18:00 至 19:00

場 所 それいけ精香園

出席者名 高山、栗木、谷川、加藤徹、服部、川島、山田広明、板津、後藤裕一、稲垣、加藤春視、鈴木、小倉、中澤

司 会 小倉廣三 幹事

1. 開会の言葉 中澤浩一 副会長
2. 会長挨拶 黒川元則 会長
3. 審議事項

イ) 定例理事会承認の件
⇒承認

ロ) 行動予定表変更の件
⇒承認

ハ) 10月プログラムの件（連絡済み）
⇒承認

二) 新会員 小澤紀行・藤上育美さんの件
⇒承認

4. 協議事項

- イ) 年末家族会途中報告の件
⇒継続協議、
- ロ) 11月プログラムの件
⇒継続協議

5. 報告事項

- イ) 指名委員会の件報告
⇒報告
- ロ) 次回定例理事会の件
⇒報告

※ 詳細につきましては、個別にてご確認ください。

【次回の開催予定】

日 時 令和7年11月4日（火）
自 18:00 至 19:00

場 所 マリオット・アソシア17階 パイン

親睦活動委員会

10月の誕生日のみなさん			
会員	誕生日	夫人	誕生日
池崎 晴美	S39.10.18	臼井 美由紀	10.13
板津 和博	S35.10.26	大脇 知子	10.9
伊藤 英毅	S16.10.13	加藤 太果子 (徹)	10.1
加藤 憲治	S22.10.21		
川島 謙一	S50.10.13	木内 珠美	10.31
河村 昭利	S44.10.1	栗木 喜代美	10.23
谷川 浩司	S40.10.20	敬称略	
船原 久尚	S20.10.9		
堀田 政宏	S49.10.9		
山下 正人	S55.10.14		



お誕生日
おめでとうございます

祝えや いざ 君のバースデー
いついつまでも 健やかなれ